

[実函数論分科会]

1. 2013 年度分科会評議員候補者選挙について

2013 年度秋季総合分科会（愛媛大学，9 月 24 日（火）～9 月 27 日（金））において実函数論分科会選出評議員候補者選挙を以下の「選挙規定」に基づき行います。

(ア) 日本数学会会員で実函数論分科会に登録してある者を選挙権者および非選挙権者とする。

(イ) 候補者は次の者からなる。ただし、同一人物が複数の候補者を推薦することはできない。

1. 分科会委員会が推薦する 2 名（そのうち 1 名は既に 1 年間評議員を務めた者とする）
2. 選挙者 15 名以上の連名により推薦された者

注：これらの候補者は当該年 8 月発行の「数学通信」2 号で選挙管理委員と共に公示する。従って、候補者を推薦しようとする者は候補者を決定し当該年 6 月までに当該年度評議員まで通知するものとする。通知様式は最後に掲げる。

(ウ) 候補者の任期は 1 年とする。

注 1. 候補者が評議員に選出されれば評議員の任期は 1 年という「日本数学会定款第 22 条」が適用されるという意味である。

注 2. 上の (イ) の 1. で述べた意味で実函数論分科会評議員の任期は実質 2 年となる。2 年目の評議員が連絡責任評議員を務める。

(エ) 投票用紙は 実函数論分科会講演予稿集（アブストラクト）に綴じ込む。投票は分科会開催日の昼休みに行う。不在者投票を希望する者は、該当年 8 月末までに連絡責任評議員（アブストラクト印刷責任者）にその旨申し出るものとする。連絡責任評議員は同年秋の学会前までに不在者投票が完了するように投票用紙を郵送する。返送された票の管理は連絡責任評議員が行う。開票および集計は分科会 2 日目の講演終了後に行ない、結果は直ちに公表し、当該年 11 月発行の「数学通信」3 号にも掲載する。

実函数論分科会評議員候補者推薦状の様式：

実函数論分科会会員である

被推薦者氏名（所属）

を実函数論分科会評議員候補者として推薦するための要件が整ったので、以下に推薦者名簿（要記名捺印）を添えて、申し込みます。

氏名（所属）（印）

（以下同様に記名捺印のこと）

2. 2013 年度の分科会委員会委員は次の通りです。

田中直樹（静岡大理），立澤一哉（北大理），蚊戸宣幸（島根大総合理工），曾布川拓也（岡山大教育）

3. 今年度開催の研究集会のうち、次をご案内いたします。

(1) 実解析学シンポジウム 2013 岡山

期日：2013 年 11 月 2 日(土)午後～11 月 4 日(月)午前

会場：岡山大学教育学部

開催責任者：森藤伸哉（奈良女子大理），下村哲（広島大教育），河添健（慶應大総合政策）

会場責任者：曾布川拓也（岡山大教育）

(2) 第 52 回実函数論・函数解析学合同シンポジウム

函数解析学分科会からのお知らせをご覧ください。

(連絡責任評議員 伊藤昭夫，近畿大学工学部)